

令和7年度 第2回 吉田町地域公共交通協議会 会議録		開催	日時	令和7年8月13日(水) 午前10時00分～11時08分
			場所	吉田町役場2階 町民ホール
報告	(1) 吉田町地域公共交通計画改訂について (2) 共創モデル実証運行事業の進捗について (3) “ぎゅっと” カーよしだの利用状況について			
討議事項	(1) 「ハッピーライド in 静岡プロジェクト」への参加について (2) 協議運賃の設定について			
出席委員	15名			
欠席委員	2名			
会議の成立	委員総数17名の内15名が出席。過半数を超えており会議成立			
オブザーバー	3名			
傍聴者	3名			
次第	1 開会 2 あいさつ(会長) 3 報告 4 議事事項 5 閉会			
報告	<u>(1)吉田町地域公共交通計画改訂について</u> 事務局より資料No.1の説明 <b>【質疑・意見等】</b> <b>(委員)</b> ○公共交通計画の内容について、表紙は「改訂」の「訂」の字は「訂正」の訂ですが、中身の1ページのところは「定」です。これは何故でしょうか。 <b>(事務局)</b> ○提出後に誤字に気づきまして、正しくは「訂正」の「訂」の字になります。次回の計画改訂の際には直させていただきます。 <b>(委員)</b> ○確認ですが、7ページの結果も含めた人口カバー率ですけれど、“ぎゅっと” カーの停留所設置以前は何パーセントでしたか。 <b>(事務局)</b> ○以前のカバー率は、3ページに路線バスのカバー状況として掲載されています。路線バスのみのカバー率は18%でしたので、“ぎゅっと” カーの導入により人口カバー率は18%が82%まで広がりました。 <b>(委員)</b> ○島田静波線について、今後この路線は維持ができるのか、今後、役			

	<p>場を経由するなど経路の変更があるかについて確認したいです。</p> <p>(委員)</p> <p>○しづてつジャストラインです。現時点で具体的に経路を変更したり、延伸する計画はございません。しかしながら、地域の皆様のお声や人口の異動状況を調査し、経路変更や延伸による利便性向上と速達性のバランスを考慮し、今後も町民の意見を伺いながら検討してまいります。</p> <p>(委員)</p> <p>○これからフィーダー系統と地域間幹線系統の役割が明確化していく中で、いろいろと議論をしていただくことになると思います。吉田町は平地が多いので通勤通学に自転車を使いバス停まで行くことが多いと思いますが、雨の日になるとバス停付近が送迎の自動車で混雑するような状況があると思います。そういういた現状を踏まえながら、“ぎゅっと”カーを普段から利用していただくこと、速達性や利便性を今後議論していきたいと思い質問をさせていただきました。ありがとうございます。</p> <p>(委員)</p> <p>○計画では 30 ページに令和9年3月までの施策実施イメージが地図上に図示されています。その中で、島田静波線の経路の変更が記載されており、具体的な取組みについては計画の 18, 19 ページに記載されています。ここでは、利用者ニーズや利便性、道路環境を踏まえ、より人口の多い地域で、道路幅員が広く、歩道上にバス停上屋等が整備できる等のより環境の整った経路に一部変更すると書かれています。まだ具体化はされていませんが、今のお話は計画の中でも検討される内容です。役場を経由するなどのは計画の中では想定されていませんが、しづてつジャストライン様が必要と判断されれば協議会の中でも速やかに報告がいただけるのではないかと思われます。</p> <p>また、島田静波線、藤枝相良線、特急静岡相良線の3つの系統が全部通るところに拠点を作りたいと思ったときに、片岡北特別支援学校前は停留所整備等にいろいろと制約があり難しいとのことなので、次の計画策定においては、また5年後にいろいろと町の様子が変わるとと思うので、計画策定時に議論をしていかなければいけないと思います。</p>
<p><u>(2)共創モデル実証運行事業の進捗について</u></p> <p>事務局より資料 No. 2、2-1、2-2、2-3 の説明</p>	

**【質疑・意見等】**

**(委員)**

○伝というのは始めた当時、貸し切りバスを使って町内を巡回していたのですが、いろいろと会場が点在していて、こういうイベントをカバーするのが難しい状況でありましたので、イベントで“ぎゅっと”カーを利用できる仕組み作りは非常に素晴らしい取り組みだと思いました。

また、榛原高校の探求授業について、榛原高校のスクールバスは、しづてつジャストラインと吉田観光が運行をしていましたが、貸し切りバスを維持できないということで 2025 年度以降に廃止になると言われ、藤枝相良線の利用が増え始めています。そういった流れの当事者である高校生に公共交通について考えてもらい、貴重な意見を出してもらい良かったと思います。

**(委員)**

○榛原高校の件ですが、プレゼン資料を作り、インスタグラムで閲覧できるようにしてあるので、協議会が終わった後にでも見ていただければと思います。

榛原高校の探求授業はこれで 3 回目となります。学生たちは非常に反応が良いというか、最初は大学の先生だからなのか身構えているんですが、いろいろと考えてくれたり、意見を出してくれるので嬉しいです。公共交通は最終的には身近な話題なので、全国的にもいろいろと課題や取り組み事例があるし、高校生も頑張っているところもあるっていうのを知ってもらったら、また広がるものがあると思って発表をしているので、貴重な機会をいただいているし、高校生にもそういう風に思ってもらったら非常に良いなと思います。学校としても大事なことであると考えてもらっていると思うので、呼ばれる限りは続けていきたいと思います。

**(委員)**

○この中部地域について、吉田町の公共交通協議会は静岡県の中で立ち上がりが一番最後であったと記憶しています。吉田町はバス路線の終点や始点になってはいないので、周囲の自治体が交通機関を確保してくれれば通過路線としての交通機関にできたという背景が当時はあったと思います。静岡県自体、他地域に比べれば東海道線とか新幹線とか鉄道の交通機関が非常に発達した地域になるんですよね。また、そこからバス路線が伸びているのが普通の状況でしたが、静岡県自体が抱えている問題というのは、その沿線から外れている地域じゃないかと思うんです。吉田町についても、鉄道駅を

	<p>抱えているわけではないので、この高校生たちへの講義が今の交通の足がどうかという話もあるでしょうが、将来に向かって、例えば今の高校生が就職して吉田町に戻ってきたときにこの町がどうなっているのか、また、守っていかなければいけないかっていうことを考えてもらう、ものすごくいい機会になったかなと思いました。</p>
	<p><b>(3) “ぎゅっと” カーよしだの利用状況について</b>      事務局より資料 No. 3 の説明</p> <p><b>【質疑・意見等】</b></p> <p><b>(委員)</b></p> <p>○利用者数1万人をちょうど超えていたんですね。気づくのが遅れましたが、10月で運行開始から2年目であることを考えると順調だと思います。数字的にも若い方が出てきたとか、登録者に対する利用者が高く、他の地区だと登録するだけで利用者が2割以下とか割が多いので、吉田町はかなり高い値になっていると思います。町民の皆様に広く受け入れていただいているなか、若い方でもバスの乗り継ぎのため車を使わず利用している方も増えてきているということなので、機会があれば使っていただける下地になっていると感じます。まだ課題はたくさんあるので、着実にやっていかなければいけませんが、とにかくいろんなところで利用できるようにすることが大事です。例えばイベントがあるときは必ず“ぎゅっと”カーで会場に行けるとか、そういうことを徹底していったらいいんじゃないかなと思いました。</p> <p><b>(事務局)</b></p> <p>○今年はお祭り等で活用してもらうため、公式LINEでイベントの前に登録方法や活用方法動画のリンクを掲載し活用の促進を図りました。これから花火大会もあるので、毎月発行のコミュニティ資料等に利用方法の二次元コードを掲載し、周知を図ろうと考えています。</p> <p><b>(委員)</b></p> <p>○今説明をしてくれた利用状況についてですが、増加の要因や理由をしっかり分析し説明をしてくれる会議はあまりないので、わかりやすく非常に良かったと思います。その調査結果を活用して、利用者を増やす宣伝や周知に役立てることができます。</p> <p><b>(委員)</b></p> <p>○タクシー会社ですが、7月は9時から11時台、19時から20時台の利用が多く、タクシーの注文もすごく減りました。それだけ地域に</p>

	<p>浸透しているのかなと思います。その時間の注文がどれだけとれるのかは弊社の自社努力の部分なのかなと思うんですが、本当に浸透してきているのだなと感じます。ぜひ、このサービスを継続して、よりよくなっていくようにしたいと感じております。また、65歳以上の利用方法について、乗り継ぎやバス停の利用を強調してもらうとバス利用者が増えると思います。</p>
<p>討議事項</p>	<p>(1) <u>「ハッピーライド in 静岡プロジェクト」への参加について</u>  <b>【質疑・意見等】</b>  <b>(委員)</b>  ○静岡県地域交通担当です。討議事項として挙げていただきありがとうございます。先ほどの利用実績や世代別の状況を拝見し、幅広い年代が公共交通の利用を始めたタイミングであり、小学生を対象にリーフレットで周知を行うことで、子どもたちの公共交通の体験機会が増え、特に子育て世代の利用促進につながると思います。ぜひ前向きにご検討ください。  <b>(委員)</b>  ○教育委員です。以前からバスの乗り方教室などが行われ、息子が小学生の時も学校で教室があり、友達と映画や静岡見学に行く体験をしました。情報だけでなく体験することが重要で、リーフレットを活用して同様に体験機会を提供すべきだと思います。  <b>(委員)</b>  ○バスの運転手不足が解消されていない状況です。特に 60 歳以上の運転手が 150 人以上おり、将来人数予測は難しい状況です。その中で、こうした体験を通じて将来運転手を目指す子供が増えることや、30 代、40 代でバス運転手に転職する方も増えているので、興味を持っていただく機会を増やすことが重要です。周囲にもこうした取組を宣伝していただければと思います。  <b>(事務局)</b>  ○</p>
	<p>(2) <u>協議運賃の設定について</u>  事務局より資料 No.5 の説明  <b>【質疑・意見等】</b>  <b>(委員)</b>  ○住民からのパブリックコメントでは意見はありませんでしたが、これまで町に寄せられた要望はありますか。</p>

	<p>(事務局)</p> <p>○個別の要望として、学生向け運賃を検討し直した方が良いとの話がありますが、統計など正式な資料はありません。現在、定期券保有者は定期券を提示することで乗車料金が 200 円になる割引や高校生以下はこども回数券を購入することにより実質 200 円で”ぎゅつと” カーよしだを利用することが出来る状態です。</p>
	閉会 (11 : 08)